

介護施設の誤薬リスクをDXで解決！ 誤薬防止システム「あんしんお薬チェッカー」を開発

岡山市・倉敷市を中心に調剤薬局（富永薬局・とみなが薬局）と介護事業（アミューズ富永）を展開する株式会社富永調剤薬局（本社：岡山県岡山市南区、代表取締役：富永民雄）は、介護施設における誤薬を防止する服薬介助支援システム『富永あんしんお薬チェッカー』を開発しました。

施設事故の1/3以上を占める「誤薬」を無くすには…

介護施設で最も多い事故要因となっている「誤薬」。令和元年の調査（北海道保健福祉部）では「誤薬事故」が34.9%で全体の3分の1以上を占めました。

服薬介助は施設入居者の生命にもかかわる重要業務ですから、施設職員は毎日、薬の管理と与薬に神経をすり減らしています。ベテラン職員や看護師によるダブルチェックも多くの施設でとられている作業手順です。それでも誤薬事故のほとんどは「確認ミス」によるものでした。誤薬事故を無くすことは“ヒューマンエラー”を無くすことなのです。



薬局と在宅介護支援住宅が共同開発、現場の声を反映

そこで富永調剤薬局では、『在宅介護支援住宅 きじゅの家 浜野』と連携し、誤薬防止システム『富永あんしんお薬チェッカー』を開発。介護現場の声から生まれたコンセプトは「たとえ新人の介護スタッフでも、すぐに使えてミスを起こさない確認システム」でした。

日付・服薬時の薬情報と入居者情報をバーコード化し、端末によるスキャンで全ての確認を行います。端末をかざして○が表示されたら確認完了。操作方法はとてもシンプルで、誰が行ってもヒューマンエラーの余地がありませんから、安心して服薬介助することができます。

誤薬防止システムが、施設のHR課題にも役立ちます

介護施設では人が頻繁に入れ替わることも少なくありません。施設管理者にとっては、スタッフが入れ替わっても、ケアの質が低下しない体制であることが重要。この誤薬防止システムがあれば誰にでも業務を任せることができます。そして、人の注意力だけに頼らない『富永あんしんお薬チェッカー』は、スタッフを与薬時のストレスから解放し、働きやすい職場づくりにも寄与します。

【会社名】株式会社 富永調剤薬局 【代表者】富永民雄 【住所】岡山県岡山市南区築港緑町1-15-26

【事業内容】調剤薬局、各種介護サービス事業所

【HP】<https://kusuriya.co.jp/>

◎本件に関するお問い合わせは (株)富永調剤薬局 経営企画管理室 担当の光畑までお願い致します。

TEL : 080-3769-6527

E-mail : [mitsuhata@kusuriya.jp](mailto:mitsuhat@kusuriya.jp)

◎当リリースは、下記が担当いたしました。こちらにもお気軽にお問い合わせください。ただし、文書の内容は、会員事業所様自身が作成されたものです。商工会議所が責任を負うものではありませんのでご了承ください。
本件担当：岡山商工会議所 中小企業支援部 専門指導センター 宮内 (TEL.086-232-2266)